

秋保大滝植物園だより No.26 春号

園内に咲く四季折々の花や色とりどりの実、季節を告げる生きものなどの自然の情報を、季節をおってお届けします。今回は春です。尚、バックナンバーは(公財)仙台市公園緑地協会ホームページ「杜のひろば」よりダウンロードできます。



ミズナラ (オオナラ)【水榭 (大榭)】
花：5月上旬～中旬 雄花序は本年枝の下に垂れ下がるように咲き、雌花序は上部の葉腋につく。



イロハモミジ【伊呂波紅葉】 品種
春の芽吹きが真紅で美しい園芸品。初夏には色があせて秋に再び紅葉するが、芽吹きの際が一番美しい。



アブクマトラノオ【阿武隈虎の尾】
花：4月下旬～5月中旬 宮城から福島の太平洋側に分布し 1999 年に新種として発表された。園内に野生はない。



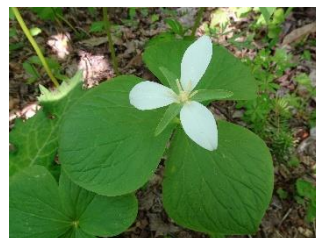
マイズルソウ【舞鶴草】
花：5月 葉の形を鶴が羽を広げた様子に例えたもの



白花アズマシャクナゲ【白花東石楠花】
花：4月下旬～5月上旬 白花は園内でも数株と少ない。芝生広場の北と東に植栽あり。



ミヤマシキミ 雌花【深山檜】
花：4月中旬～5月上旬 雌雄異株シキミと名があるが、ミヤマシキミはミカン科でシキミとは別種。



オオバナノエンレイソウ【大花の延齡草】 花：5月上旬～中旬 全体に大型。エンレイソウの仲間の特徴は葉・萼・花弁共に3枚であること。



コイワウチワ【小岩団扇】
花：4月 開園と同じ時期に咲く早春の花。すだれ滝滝見台斜面一面に咲きます。



シロヤマブキ【白山吹】 花：5月上旬～中旬 黄色い花のヤマブキとは属が違い1属1種。ヤマブキは花弁が5枚、シロヤマブキは花弁が4枚。



アカシデ 雄花【赤四手】
花：4月中旬～5月上旬 若葉は赤いので園内でも目立つ。カバノキ科の植物は雄花が垂れ下がるのが特徴。



ミヤマキケマン【深山黄華鬘】
花：5月上旬～中旬 越年草 野生では日当たりの良い崩壊地、伐採跡、礫地などを好む。全体的にやわらかい。



アヤメ【菖蒲】
花：5月 乾燥した土地に生える多年草。園内四季散策路に増えている。



アマギツツジ【天城躑躅】 花：5月中旬～下旬 伊豆半島特産のツツジ。ヤマツツジやミツバツツジよりも開花が遅く、花も大きい。



メグスリフキ (チョウジャノキ)【目薬の木】 花：5月上旬～中旬 園内では花を見ることができなかったが2018年より開花を確認。



オオヤマフスマ (ヒメタガソデソウ)【大山衾 (姫誰が袖草)】 花：5月上旬～5月下旬 全体的に極々小さく目立たないが、花はよく見ると可憐で魅かれる。



ビオラ・ソロリア・スノープリンセス 園芸種。花：5月上旬～中旬 純白で深みのある花を咲かせる。アメリカスミレサイシンの仲間。



コウザンアセビ (シナアセビ)【甲山馬酔木】 花：5月中旬～6月上旬 晩生種。中国原産。新芽が赤く美しい。南西の西洋シャクナゲ植栽地にあり。



クルメツツジ【久留米躑躅】 園芸種 花：5月中旬～下旬 キリシマツツジを元に改良されたツツジ。二重咲きや三色咲きなどが多い。園内では秋にも花を咲かせる。中央通路付近に多い。



ホウチャクソウ【宝鐸草】
花：5月上旬～中旬 花被片は白で先端にいくほど緑色が濃くなり、その色合いが美しい。茎を折ると強い臭いがする。



クチベンズイセン【口紅水仙】
花：5月中旬～下旬 水仙の中では晩生種。明治末年に渡来し、古くから親しまれている水仙のひとつ。口紅のような赤い縁取りがアクセント。